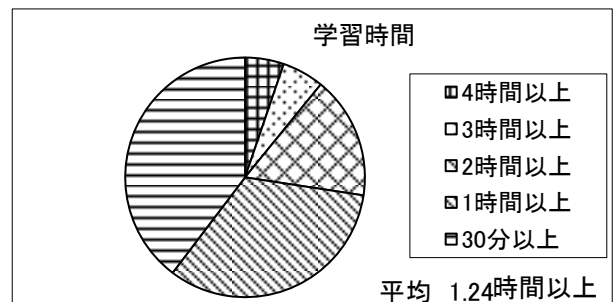
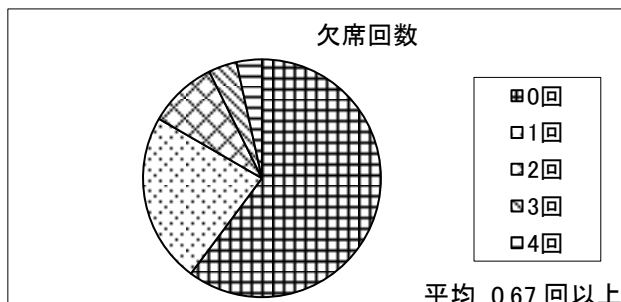
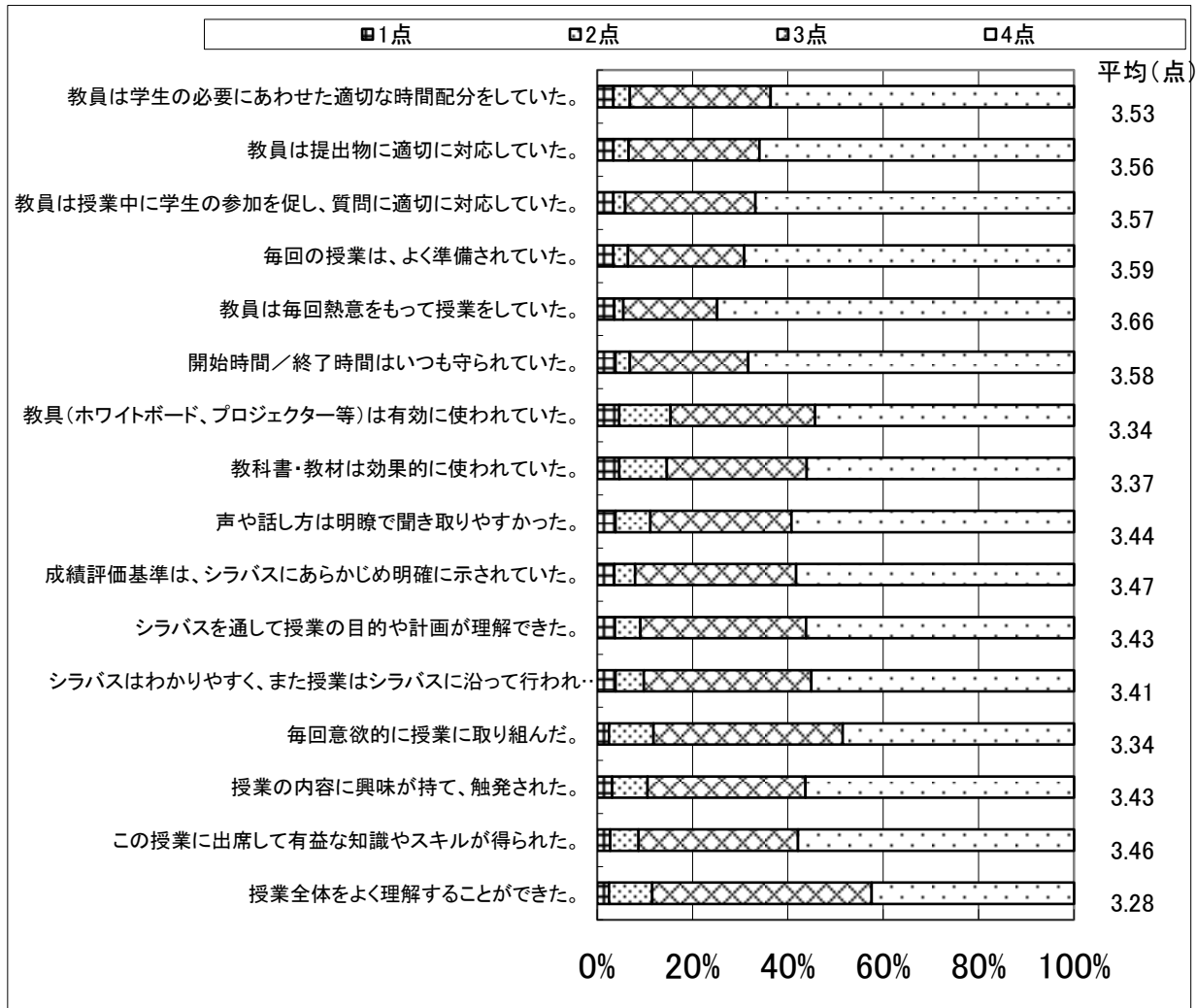
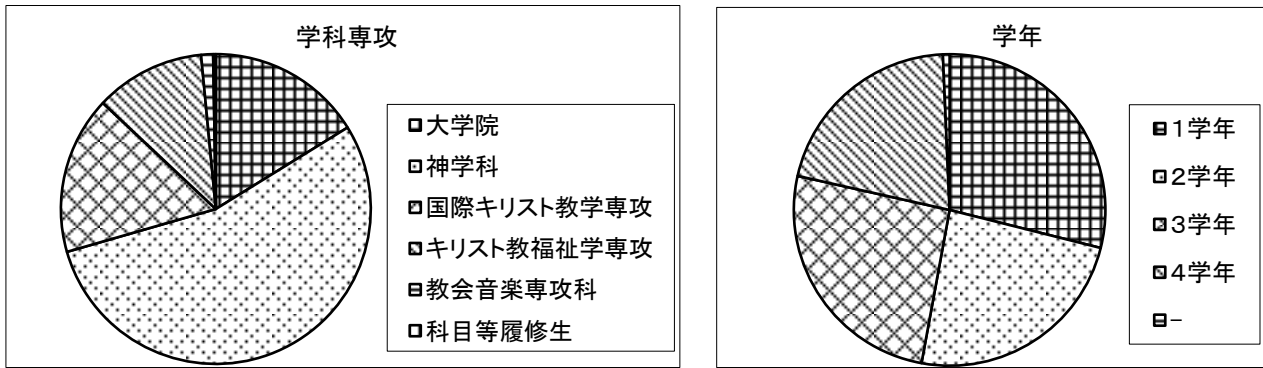


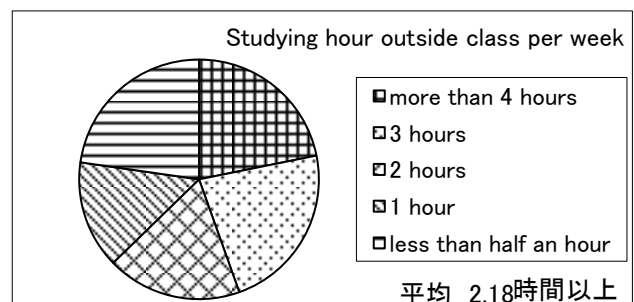
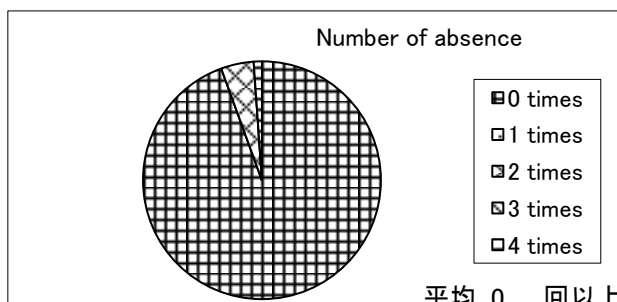
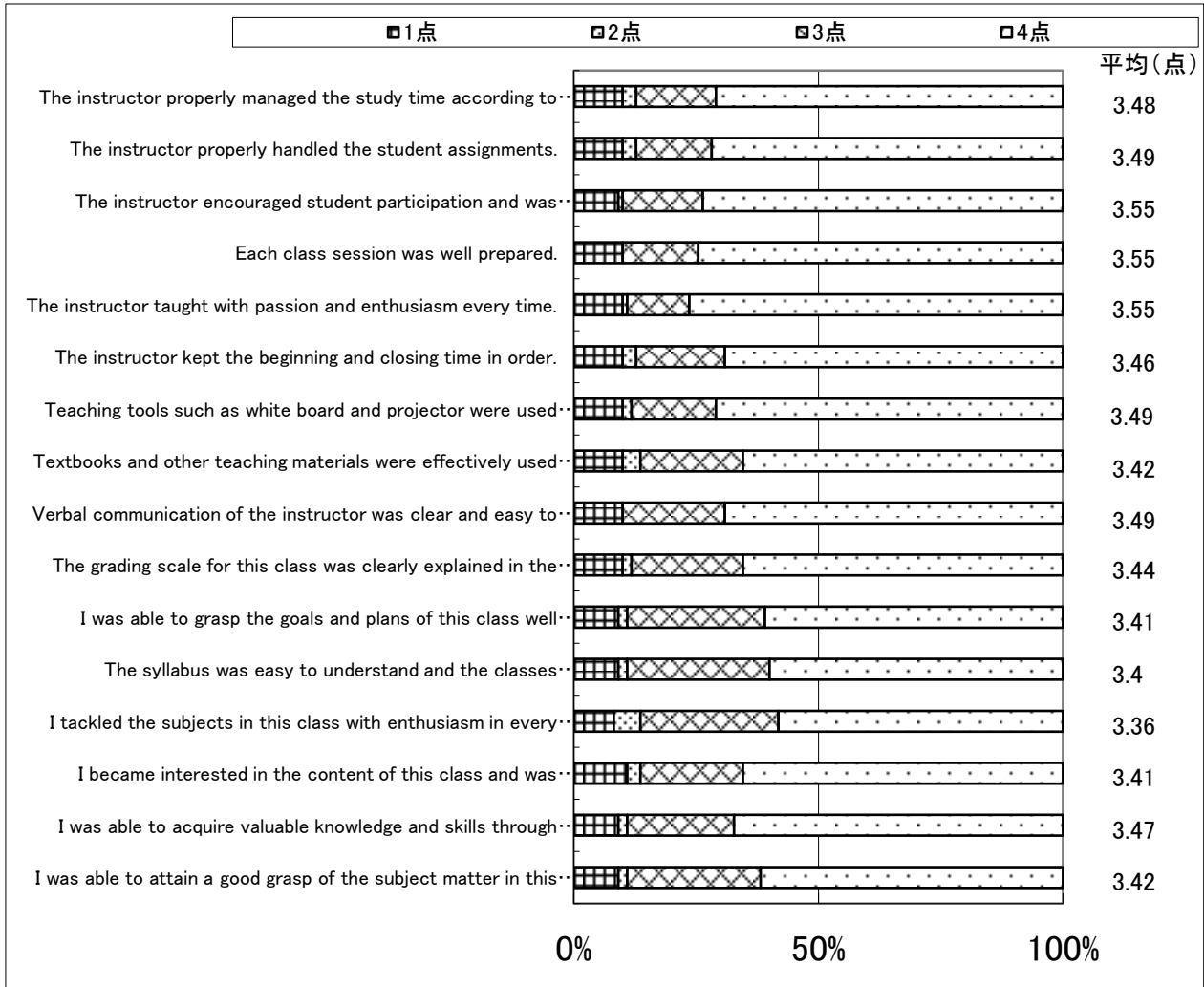
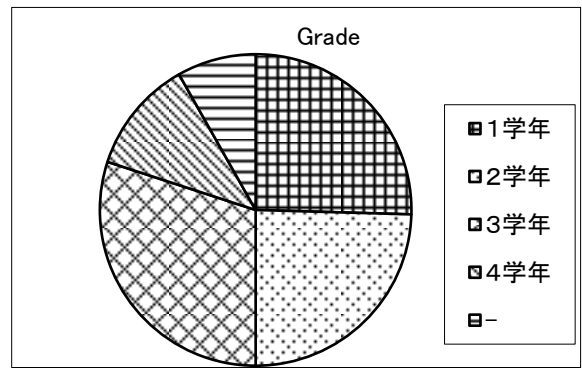
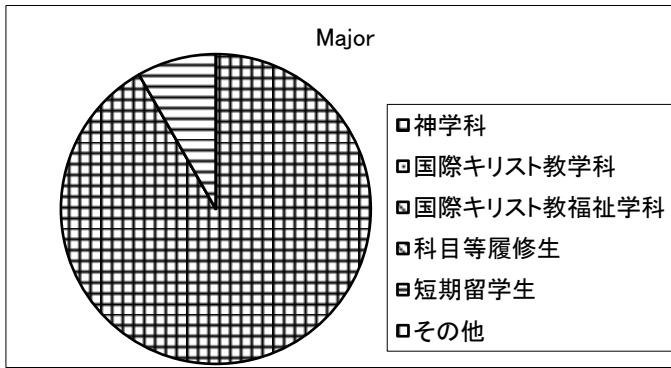
2013年度授業評価アンケート結果

学期 秋学期
科目名 日本語提供科目全体(平均)



2013 Class evaluation result

Term Fall
Course Title ACTS-ES (average)



2013 年度秋学期
学生による授業評価アンケート結果の評価

神学部

各学科・専攻・研究科とも、概して学生の評価は良好であるといえます。授業時間外学修については、以下の平均を参考にしてください。また、学年度末に出る学生ポートフォリオの結果と照合し、検討する計画です。

2012 年度	秋	ACTS-ES 2.05 時間	その他 1.12 時間
2013 年度	春	ACTS-ES 1.82 時間	その他 1.26 時間
2013 年度	秋	ACTS-ES 2.18 時間	その他 1.24 時間

コア・教養

全体的に学生の満足度は高い。科目の性質上、非常勤講師の割合が高いが、学生に好評のクラスが多い。全体的に授業外学習時間の問題が残るが、非常勤教員にも再度、この課題についてお知らせし、協力を仰ぎたい。授業時間確保に関しては、学生の課外活動との関連性もあり、その方面からの改善も必要であろうと思われる。

神学科

概ね、大きな問題もなく、学生たちが神学科の授業を評価してくれていると思います。勿論、科目や担当教員によって評価に多少のばらつきはありますが、この人数ですので、科目の内容、教員の資質および履修している学生の資質や興味など様々な要素が反映しているものと思われます。平均値は3点から4点の間で、3点に近い場合から4点に近い場合とに妥当な評価であり、ほぼ妥当なレベルで教員が授業を実施しているものと判断します。

ACTE-ES

- ・ The average of weekly study hours rose from 1.82 in the spring to 2.18 in the fall. The lowest for any class was 1.33, and the highest was 3.33.
- ・ Students expressed high levels of satisfaction with courses that help them to communicate more and better with Japanese (namely, Japanese language classes and Intercultural Communication).
- ・ Some expressed a desire to interact more heavily with Japanese students in certain integrated classes.
- ・ Students consistently express strong appreciation for meaningful interactions, discussions, etc., in certain classes, and some expressed a desire for more interactions in certain classes.
- ・ Some expressed appreciation for use of visual aids in certain classes (audio, video, etc.), and some expressed their desire for more visual aids in certain classes.

- ・ Some expressed their wish to receive more feedback regarding their work and grades in certain classes, and some expressed appreciation for the instructor's feedback in certain classes.
- ・ Some complained that the work load in certain courses was too heavy.
- ・ Problems with evaluations:
 - (1) Anonymity has been compromised in at least one instance (one ACTS-es student in a class primarily for EAI students).
 - (2) Some students are copying and pasting the same comments into evaluation forms for multiple classes. Therefore, some of the comments will appear to be deeply thoughtful and constructive, but they may simply be canned responses.
 - (3) Some students have misunderstood the rating system (treating 1 instead of 4 as highest).

国際キリスト教学専攻

語学科目と専門科目両方とも学生の評価が高い。多読を軸にしたビッグイングリッシュプログラムが順調に進んでいることはうれしいことである。

キリスト教福祉学専攻

全体の傾向から、授業は各教員がわかりやすく教えるための配慮をしていることが伺えた。ただし、学生によってはわかりやすく教えてもらうだけではなく、「考える機会」を求めているので、知識伝達型の授業においても一方通行にならないように留意する必要がある。悪い点としてはテキストの使用方法と時間配分に課題が見えた。キリスト教福祉学専攻カリキュラムでは同じ科目名で番号が連なったものも多く、中には直接テキストを使わず資料で対応する科目もある。ただし、学生には介護福祉士養成カリキュラムに沿ったテキストの購入を前提としているため、使用しない場合は事前に説明するなどの対策をとっていきたい。

神学研究科

それぞれの科目の特性に応じた学生の反応が見てとれるアンケート結果であった。たとえば英文資料が多ければ理解が難しいという意見がある。学生の理解力を勘案しつつの訓練が期待される。フィールド・トリップの好評はアクティブ・ラーニングの有効性を示しているように思われる。

教会音楽専攻科

学生による授業評価は、高いものが多かった。欠席もほとんどなく、学生の取り組む姿勢の高さが伺われた。唯一、実践音楽実習について、改善の余地があることが確認された。次年度に生かしたい。

2014年2月4日
教授会 資料